

資質・能力一覧表作成の目的

- 小学部段階からのキャリア発達支援の必要性
- ライフキャリアの観点での自立・社会参加の重要性

支援者ミーティングにおける児童生徒の目標

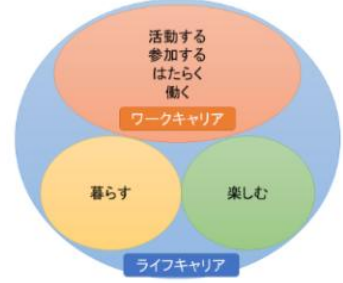
- 金銭
- 調理
- 体調管理
- 公共交通の利用

ライフキャリアの観点での「資質・能力」の整理が必要

取り組みの実際

1期 (5月～7月)

- 「ライフキャリア」の捉え方についての共通認識
- 「論点整理」や文科省教育課程部会での議論を参考に



本校における「育成を目指す資質・能力」一覧表の構成



2期 (夏季休業中に各学部案の検討)

小学部案
着替え、排せつ等
日生面の資質・能力の項目が多岐にわたる

中学部案
「くらす」、「はたらく」、「たのしむ」の項目の中に「かかわる」が入り込む

高等部案
「はたらく」項目が多くなりすぎ、表記しきれなかった
「かかわる」が、「くらす」、「はたらく」、「たのしむ」を下支えするイメージ

3期 (9月～12月)

各学部案を基に様式や「資質・能力」の捉えの検討

文科省教育課程部会の審議における各教科の資質・能力一覧(別掲)との整合性を取る

本校における「育成を目指す資質・能力」一覧表の完成

「かかわる」は昨年までの研究で大事にしてきたものなので一番上に配置

資質・能力をまとめる作業とともに、資質・能力の各観点を整理

就職支援ネットワーク会議で確認



資質・能力一覧表の活用

- 指導案の様式変更
・各学部の授業研において指導案の様式検討
- ・題材観の中で「育成を目指す資質・能力」との関連を示す
- ・題材の目標に関しては、「学びに向かう力・人間性等」に示される資質・能力は、観点別学習状況の評価にはなじみづらいため、「関心・意欲・態度」で示す

資質・能力の3つの柱と関連付けた題材の目標

○高等部サービス班(カフェSUZUKAKE)指導案の例

「はたらくために必要な知識・技能」
「課題を見いだし解決する力」
「状況に応じて判断する力・対応する力」
「自ら振り返り改善しようとする態度」

考察

- 資質・能力を意識した単元計画・授業づくり
- 学校教育目標の共通認識
- カリキュラム・マネジメントにつながる意識

